

六ヶ所原子燃料サイクル施設等見学会を開催しました

参加者からのアンケート結果をお知らせします

市エネルギー対策課では、国のエネルギー政策の一つとして青森県内を中心に展開しつつある『核燃料サイクル(原子燃料サイクル)』の現状と、『核燃料サイクル』における『使用済燃料中間貯蔵施設』の位置付けやその必要性について、市民の皆様により詳しく知っていただくために、平成20年度青森県広報・安全等対策交付金を活用した事業として、『六ヶ所原子燃料サイクル施設等見学会』を2回にわたり実施いたしました。

今年度は合計で31名の方にご参加いただきました。また子育て世代の方でこれまで参加ができなかった方も参加できるように小学生以上のお子様と一緒に参加も可能となりました(6名の小学生の参加がありました)。

六ヶ所原燃PRセンターや放射線に関する研究施設である環境科学技術研究所を見学していただきましたが、参加者の皆様は様々な感想を持たれたようです。

ここでは、参加者の皆様にご協力いただいた(小学生児童は除いています)アンケート調査の集計結果と、いただいたご意見について、広く市民の皆様にお知らせいたします。

◎ 見学会実施日と参加者数

見学会名	日 程	参加者数	
第1回見学会	8月 8日(金)	22名	むつ地区 17名(うち小学生 6名)、川内地区 4名、大畑地区 1名
第2回見学会	8月22日(金)	9名	むつ地区 8名、大畑地区 1名
合 計		31名	むつ地区 25名、川内地区 4名、大畑地区 2名

◎ 行程

市内各地区(むつ・大畑・川内)を出発



① 六ヶ所原燃PRセンター



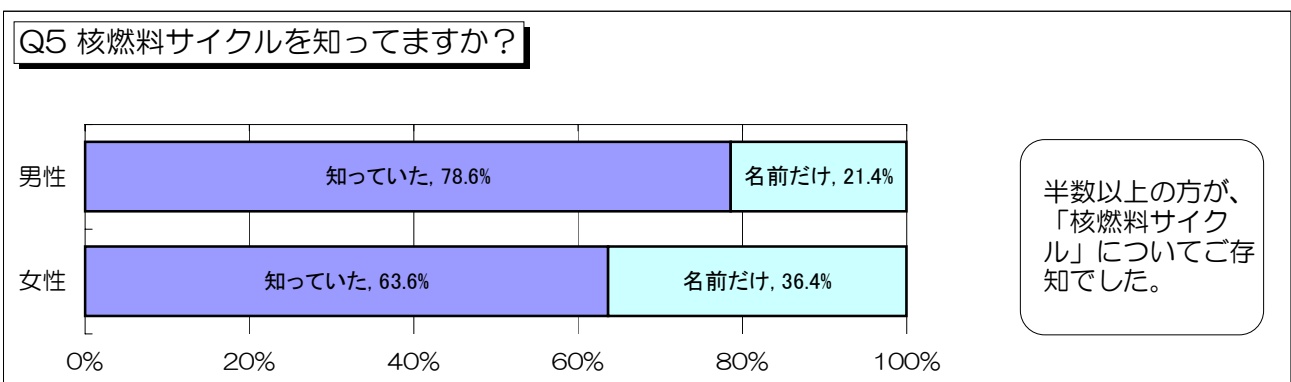
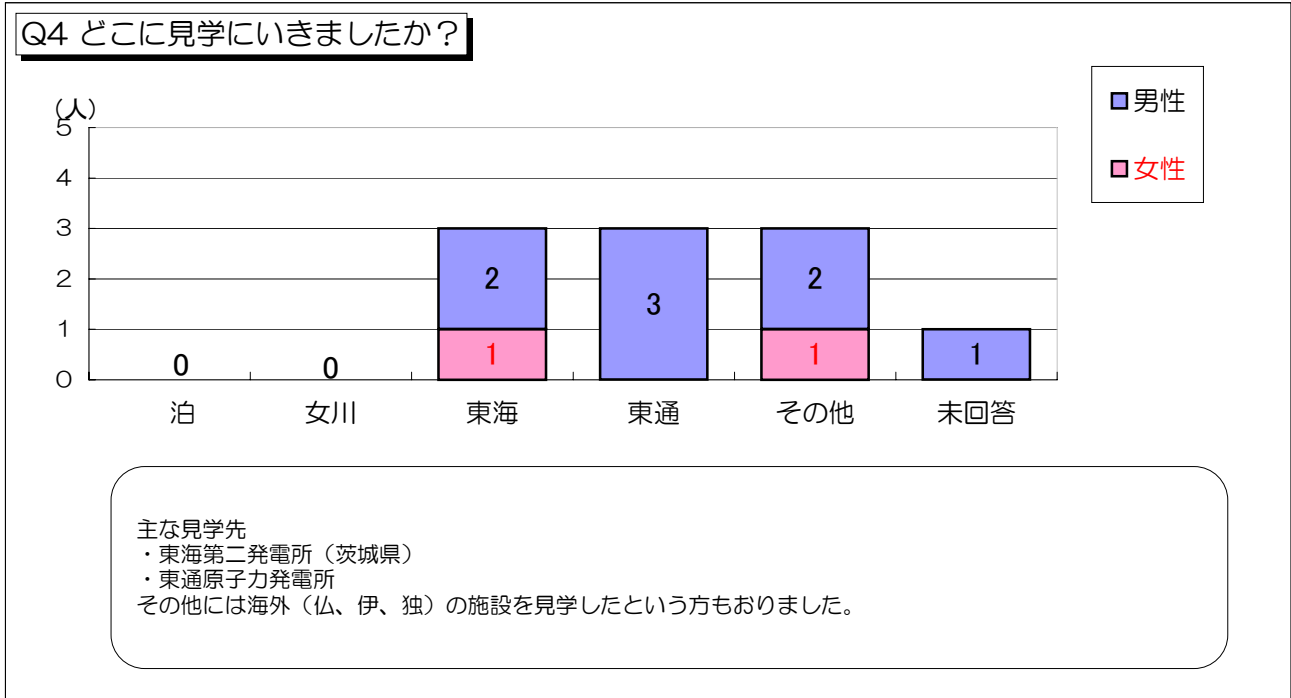
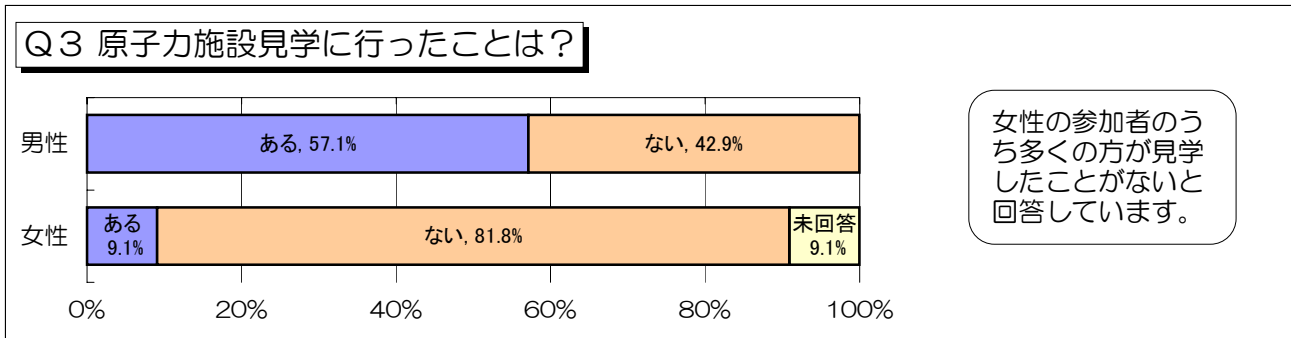
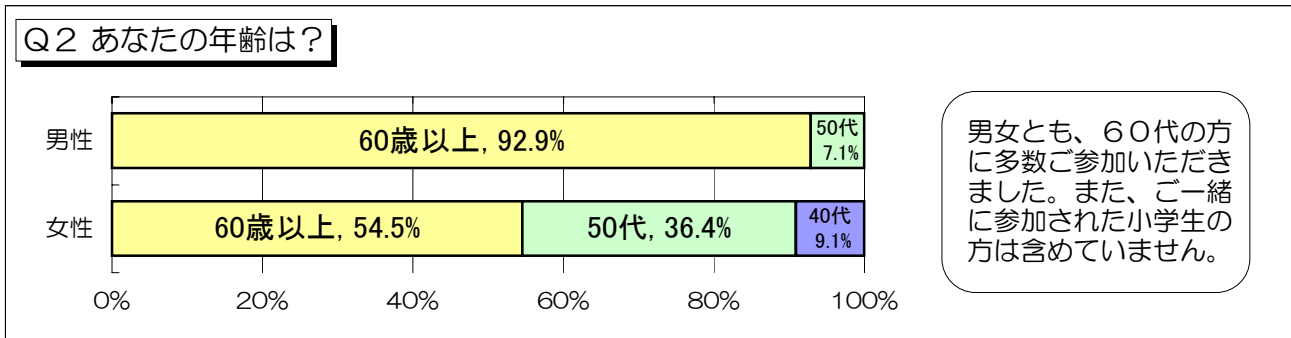
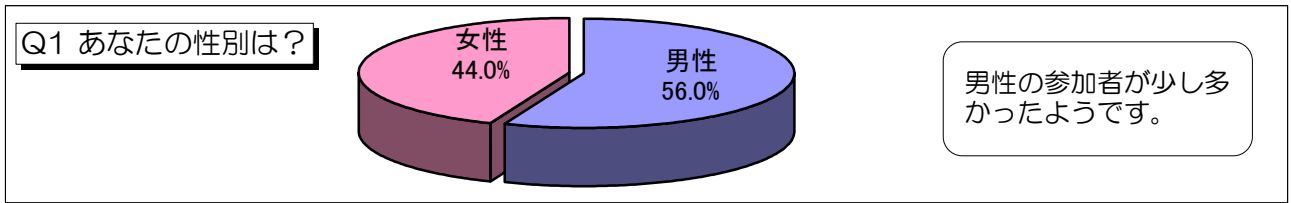
② 環境科学技術研究所



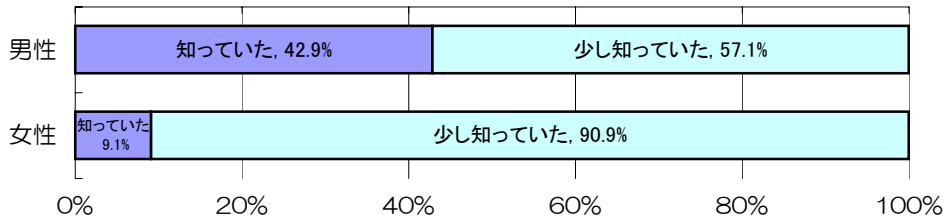
市内各地区(むつ・大畑・川内)で解散



◆六ヶ所原子燃料サイクル施設等見学会 アンケート結果（選択式部分）

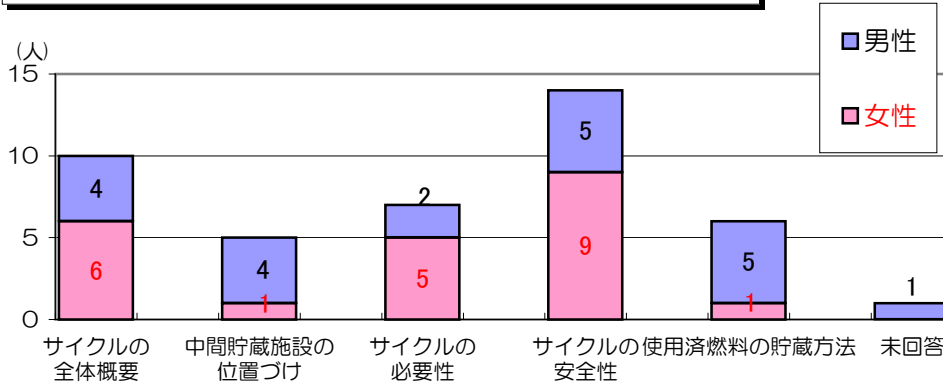


Q6 「中間貯蔵施設」が核燃料サイクルの中においてどのような位置付けにあるか知っていますか？



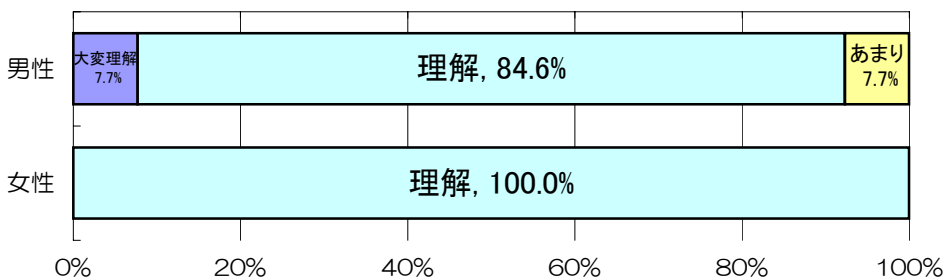
中間貯蔵施設は使用済燃料を再処理するまでの間、一時的に貯蔵管理するための施設で、市内（関根水川目地区）に建設が予定されています。

Q7 核燃料サイクル施設について知りたかったことは？



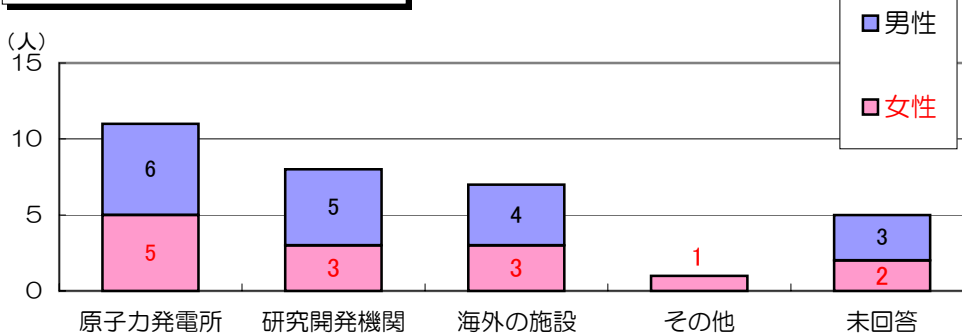
核燃料サイクルの安全性についての関心が高かったようです。

Q8 知りたかったことは理解できましたか？



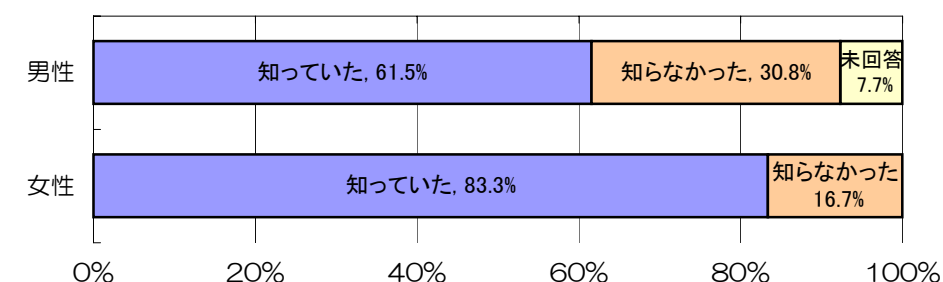
参加者の9割以上の方が、知りたかったことが理解できたと回答しています。

Q9 今後見学したい施設は？



原子力発電所や研究機関を見学したい、とのご意見をいただきました。

Q10 自然界にも放射線を出す物質があることを知っていますか？



半数以上の方が身の回りにも放射性物質があることをご存知でした。

◆ 六ヶ所原子燃料サイクル施設等見学会 アンケート結果（記述式部分）

Q1 1 「使用済燃料中間貯蔵施設」「核燃料サイクル」「原子力発電所」等原子力関連施設の理解を深めるうえで、知りたい情報や手に入れたいパンフレット等がございましたら、お知らせください。

- ・ 使用済燃料中間貯蔵施設のパンフ

Q1 2 放射性物質について不安に思っていることは何ですか。

- ・ 人体への不安
- ・ 大きな事故になった場合の周辺地域の安全性
- ・ 安全性です
- ・ 人体に影響のない様に進めていただきたい。
- ・ 放射性がもれたのをテレビで聞いているから、これからは大事です。
- ・ 健康に及ぼす影響
- ・ レントゲンについて
- ・ 貯蔵施設の地盤は大丈夫か？地震などの影響。
- ・ 安全
- ・ 特にはないが工学・科学システムは絶対に安全は無いので危機管理を十分に備えて欲しい。

Q1 3 ご感想、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 放射性物質と放射能の違いについて、はっきりとわからない。
- ・ 環境科学技術研究所を見学して、その研究の大きさにおどろいた。
- ・ 核燃料サイクル事業で再処理能力と使用済燃料が年間 200～300 トンも再処理能力を超えているということで計画から20年も経過しないときに 20～40%も予測が違っている点で日本の原子力政策の甘さを感じるとともに見通しのなさを強く感じた。
- ・ 被ばくと病気治療のための放射線の違いは？
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 大変意味のある見学でした。
- ・ 以前より興味があり今回参加させていただきました。わかりやすい説明でとてもよかったと思います。
- ・ 廃棄物をどんどん地下にうめこんで人間の住む場所がなくなるのではないか。安全とは言っても「絶対」ということはないと思う。予想外が多すぎる昨今である。（天災も）人災も含めて）
- ・ 概ねていねいでした。
- ・ NUMO の活動についての現況が知りたい。（TRU 廃棄物、高レベル放射性廃棄物について）

市エネルギー対策課では、今回の参加者アンケートの結果を参考にさせていただき、今後も原子力発電に関する理解を深めていただけるような各種イベントや見学会を企画して参りたいと考えております。

ご意見やご感想などがございましたら、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いたします。

お問い合わせ先

むつ市企画部エネルギー対策課

TEL：22-1111（内線231）